

箱根の美しさを守るために

函嶺白百合学園中学校 一年 西堀 愛禾

私たちの学校がある箱根町は、自然豊かな景観と歴史が息づく観光地です。学校の校庭から見える大文字山は、季節によって緑やオレンジ色に山を変身させ、箱根町全体をずっと見守ってくれる存在です。春はピンク色の花々が一面に広がり、夏は新緑の緑、秋には色鮮やかな紅葉、冬は銀世界で落ち着いた雰囲気が特徴です。その四季折々の美しい自然に囲まれた箱根に、通い続けて私は今年で七年目を迎えました。登山電車の窓からは、季節の移り変わりが感じられます。

私は、これまで六年間箱根に通い続けて少し感じたことがあります。最近では、箱根を訪れる海外の観光客の方が増え、町の活性化につながりとてもよいことだと思っています。けれども、うれしい反面、駅付近や道路にペットボトルやたばこの吸いがらなどの「ゴミ」が増えているように感じます。今は、持続可能な世界をつくるためにSDGsの取り組みもされていますが、まだまだその対策ができていないところがたくさんあります。SDGsの目標には、

「11住み続けられるまちづくりを」「13気候変動に具体的な対策を」「15陸の豊かさも守ろう」という課題もあります。どうしたらこの豊かな自然を守ることができ、持続可能な目標が達成できるのでしょうか。私には、二つの考えがあります。一つ目は、学校で行っている清掃活動の回数を増やし、積極的に取り組むことです。この活動は、私たちが毎日使っている駅付近や学校までの通学路、校庭をグループに分かれて掃除を行います。駅付近はたばこの吸いがらが落ちていたり、道には枯れ葉や枝などがたくさん落ちていたりします。しかし掃除をする回数は年に十回程度しかなく、少ない気がします。みんなが毎日通学の時に使い、また観光客も利用する場所なのでできるだけきれいにしたいです。そのため、学校の生徒たちが自ら進んで行い、箱根の魅力の一つである「自然」を守るという意識を高めたと思います。

二つ目は、この学校の生徒会を中心に行っている「ブルーアースプロジェクト」という活動についてです。この活動

は、女子中高生からの視点で環境問題の課題解決を考え実践し、さまざまな環境保全・啓発活動を行っています。これまでに行っていた企画では、プラスチックゴミを細かくして色を付け、それを固めてヘアゴムやキーホルダーなどにアレンジをしていました。ここでは、小さな子供にも分かりやすくSDGsについて説明しており、楽しくだれでも気軽に実践することが出来ます。私は、今年の文化祭で行っていたキーホルダーづくりに参加しました。他のワークショップとは違い、クイズでSDGsについて知りその後プラスチックを細かくしたものを再利用して、環境にやさしいキーホルダーを作りました。

箱根の美しさや生き物を守ることは、初めは難しいと思いますが、日々の生活での積み重ねで良い方向へと進んでいきます。そしてゴミを減らすだけではなくそれをどう再利用して、どう工夫するかによって環境保護にもつながります。また、人のために思いやりをもって行動することと同じように箱根のために自分たちの力をつかい、より多くの未来の未来を大切に守りたいと感じました。これから私は環境保全の取り組みについて呼びかけていきたいです。